

れんごう中越地協

第1165号2024.8.5
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
http://tyuuetu.net

定価 1部10円
購読料は会費を含む



長岡空襲から79年 8月1日は長岡市恒久平和の日 第30回平和の森コンサートなど

長岡市では、長岡空襲のあった8月1日を恒久平和の日として定めています。この日にあわせて、7月31日に平和の森公園で「第30回平和の森コンサート」が、8月1日には、同公園で平和祈願祭、アオーレ長岡で「長岡市平和祈念式典」となごかお平和フォーラムが開かれ、連合中越地協からも大勢参加しました。

第30回を迎えた平和の森コンサートが、7月31日(月)午後6時30分から平和の森公園で開催され約300人の参加がありました。

昨年までの5年間はウイルス禍等の影響で短時間の開催でしたが、今年は会場の照明も復活し、約2時間のコンサートとなりました。また、第30回ということで、記念曲の歌詞の公募も行われ、長橋正宣さんの「平和つ



ていいね」が最優秀賞に選ばれました。この詩に実行委員の深田さんが作曲し記念曲としてピースオプフォレストの演奏で披露されました。



アオーレ長岡では、8月1日(木)午前9時から長岡市平和祈念式典が開かれ、市内各地から小中学生や市民など約800人が参加しました。

この式典の主催は長岡市で、市議会、新教組長岡支部そして連合中越も構成団体の一つとなっている長岡市非核平和都市宣言市民の会が共催しているもので、地協からは五十嵐副議長が代表として参列したのをはじめ、受付などの運営に動員者も含め協力しました。



式典は、「語り継ぐ平和への想い」の放映、黙とうに続き、磯田市長は主催者挨拶で「今ある平和は、多くの尊い犠牲と復興に尽力した先人の努力の上に成り立っていることを忘れ

てはならない。恒久平和の実現に向け、市民とともに粘り強く取り組む」と述べました。その後、各団体の代表献花が行われました。

長岡空襲体験者のお話では、池田ミヤ子さんが、志願兵として出征した兄が昭和20年の3月に戦死し、さらに長岡空襲でお姉さんを亡くした体験を語られるとともに、戦

このコンサートは市民有志による実行委員会運営されており、連合中越は協賛団体として参加しており、午前からの準備作業、夜の運営、撤収作業に各労組から20人を超える組合員の参加を得て、運営に協力しました。

災害資料館の運営ボランティアとして体験を語り継ぐ思いを述べられました。

次に、高校生が非核平和都市宣言を朗読。昭和59年戦災復興40年を迎えるにあたり、非核三原則の遵守と核兵器の廃絶を求め、世界の恒久平和維持への願いを込めて、長岡市を「非核平和都市」とすると宣言したものです。

式典では、広島派遣中学生に小学生が折った鶴が依託され、最後に広島派遣中学生による「平和の誓い」を発表し終了しました。

引き続きアオーレ長岡では、ながおか平和フォーラム(長岡市や商工会議所女性会ほか新教組長岡支部、連合中越等9団体で実行委員会を構成)が、

1日(木)午前8時から、平和の森公園で、新教組長岡支部と長岡非核平和都市宣言市民の会による「2024平和祈願祭」が行われ370人を超える小・中学生と市民が参加しました。

この会は、平和像の前で長岡空襲で亡くなった子供たちや教職員など、犠牲となった方々への追悼の意を表すとともに、長岡空襲を語り継ぎ、非核・平和を誓う子どもたちを育てることを目的として開催されています。

祈願祭では今井新教組委員長の「平和像の話」、長岡市長のあいさつ、代表献花に続いて、各労組からも協力いただいた「折り鶴プロジェクト」で寄せられた1万羽近くの折り鶴の奉納が行われました。

8月1日アオーレ長岡では 平和祈念式典・平和フォーラムを開催

第8回地協幹事会を開催 長岡市長選挙政策協定の締結式も

連合中越第8回幹事会を7月17日(水)午後6時30分からまちなかキャンパスで開催しました。

幹事会の冒頭に、10月6日に行われる長岡市長選挙について、連合新潟として推薦を決定している現市長の磯田達伸氏と政策協定の締結式を行いました。締結式には連合新潟の小林会長も出席し、

平和祈願祭

7月も後半に入り、暑さが一段と厳しくなってきました。連日30℃を超える日が続いており、私たちの日常生活に大きな影響を与えています。これは単なる季節の変化だけでなく、地球温暖化の進行を示す1つのサインでもあります。地球温暖化は、化石燃料の燃焼や森林破壊によって大気中の温室効果ガス(二酸化炭素等)が増加し、地球の平均気温が上昇する現象です。この温暖化により、海面上昇、生態系の変化などが引き起こされ、人類や自然環境に大きな影響を及ぼしています。こうした中、カーボンニュートラルが注目されています。カーボンニュートラルとは、人間活動によって排

出される温室効果ガスを、吸収や削減する取り組みを通じて実質的にゼロにすることを目指す概念です。多くの国や企業が2050年までにカーボンニュートラルを達成する目標を掲げており、日本では再生可能エネルギー事業の拡大や電気自動車の普及など様々な取り組みが進められています。一方で、「節電・節水」、「フードロスの削減」、「植林活動への参加」など個人でできる対策も数多くあります。地球温暖化の進行を食い止めるには、私たち一人ひとりの行動が不可欠です。今すぐにできることを始め、持続可能な未来を築いていきましょう。

つがりました。「国政運営の劣化が進んでおり、政権交代の必要性を感じている。賃上げも税金や社会保障料で相殺され、政治に対する不満が募っている。来年の参院選に向けた戦いも始まっており、労働組合としての政策立案に努めたい。」

小林俊夫連合新潟会長からは次のようなあいさつがありました。「春闘の関係については、7月22日に最終集計を公表する。賃上げ率は4%。来年に向けて労務費を含めた価格転嫁を進める取り組みを行う。最低賃金引き上げ交渉は8月上旬が山場で、8月5日の週に答申が出る見込みとなっている。」

その後、報告事項、審議予定事項について論議を行いました。審議予定事項では地協総会と躍進レセプション、市政要望アンケート、支部活動予定などについて論議し、了承されました。



あたご3
No.99

幹事
五十嵐貴史

「農業・食料・環境問題を学ぶ」事業

ユニバーサル農園「Oasis R」第3回イベント

「じゃがいも収穫&ヨモギ管理作業」

連合中越地協の「農業・食料・環境問題を学ぶ」事業、ユニバーサル農園「Oasis R」の今年3回目のイベント「じゃがいも収穫とヨモギ畑の管理」が7月20日(土)8時45分から行われました。今回はNPO法人UNEとの共同イベントで、連合からは大人57人、子ども21人の参加、その他見附市の養護施設やフードバンク利用者などの参加あり、全体で100人を超える参加者がありました。

当日は集合時間の直前から雨が降り出したため、集合地点のふるさとの森管理棟で開会式を行い天候の回復を待ちました。開会式でNPO法人UNEの家老代表から「天候に左右されるのが農業の宿命。これも農業体験の一つ」等のあいさつがありました。続いて、連合の農場副実行委員長のあいさつ、作業の説明を行いました。幸いにも開会式終了とともに雨が小降りとなったため、畑に移動を開始。畑は雨でぬかるんだ状況でしたが、作業を開始。最初に、ジャガイモの収穫作業。4月20日の第1回イベントで植えたジャガイモ二畝を全員で収穫。今年は昨年よりも大きなものが多く、子どもたちも両手に抱え

ながら運んできました。40分ほどで作業は終了し休憩に。休憩時にはゆでたてのジャガイモの味見をしました。休憩後、収穫したジャガイモは一人一袋ずつ詰めてお持ち帰り用とし、ショートコースの参加者はここで終了しました。ロングコースの参加者はこれからヨモギの管理作業。ヨモギは乾燥後、業者に売って畑の管理費を捻出する貴重な財源となっていました。

その後、昼食場所の管理棟前に再度移動。今回の昼食は「流しうどん」なるものです。家老代表の説明の後、作業開始。あらかじめ刈ってあったヨモギを揃えて集めてトラックに積み込みました。一時間近く作業して終了。今日の休憩には、ゆでたての枝豆が用意されていました。

竹のよによ、UNE自慢の手打ちうどんが流され、子どもたちが歓声をあげて食べていました。最後に記念撮影をして終了しました。収穫したジャガイモ約30kgはフードバンクがにおかに寄贈しました。次回は10月26日(土)にサツマイモの収穫を予定しています。

米山隆一衆議院議員の総決起集会が7月13日午後2時からパストラル長岡で開催されました。米山隆一衆議院議員は、新しい選挙区割となる、次期衆議院選挙に新4区(長岡市、見附市、小千谷市、三島郡、柏崎市、刈羽郡)から立候補を予定しており、連合も昨年12月に推薦を決定しています。

当日は、500人近くの参加があり、連合からも多くの仲間が参加しました。集会では主催者あいさつに続いて、連合中

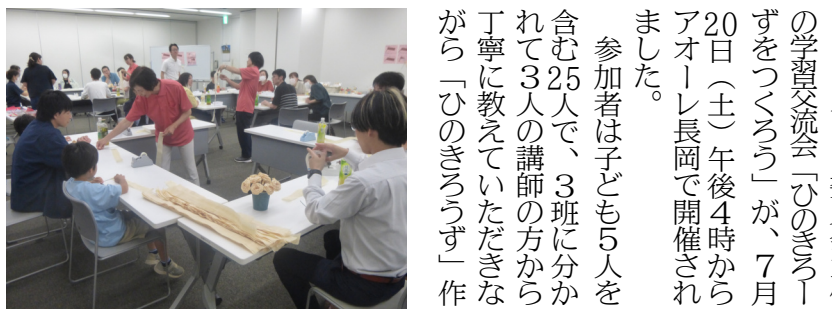
越地協矢島議長があいさつに立ち「春闘で賃上げを勝ち取ったが、物価の上昇で実質賃金は下がっている。政治の力で転換しなければならぬ。そのためにも米山さんの力が必要。米山さんの再選のため、連合もしっかり取り組んでいきたい」と述べました。

その後、「立憲民主党政権と政権交代へ向けての取り組みについて」という演題で、立憲民主党泉健太代表の講演が行われました。

そして米山隆一衆議院議員が決意表明にたち、これまでの国会での活躍を報告し引き続きの支援を訴えました。

最後にガンバロウコールが行われ集会は終了しました。

新潟県ライフサポートセンター
1人で悩まず、気軽にご相談ください
☎ (0258) - 86 - 8898 秘密厳守
相談は原則無料 平日:10時~16時
・日常生活全般 ・心の悩み ・人間関係 等
〒940-0036 長岡市愛宕3-7-24 2F
Email nagaoka-lsc@galaxy.ocn.ne.jp



「ひのきろうず」をつくる。SJネット委員会主催の学習交流会「ひのきろうずをつくる」が、7月20日(土)午後4時からアオーレ長岡で開催されました。

参加者は子ども5人を含む25人で、3班に分かれて3人の講師の方から丁寧に教えていただきながら「ひのきろうず」作りを行いました。

講師は長岡市のひのきろうずスマイルの丸田さん、上越市のひのきろうずときめきの丸山さん、田さんです。最初に丸田さんから「ひのきろうず」についての説明がありました。「ひのきろうず」はヒノキを建材として加工する際に出る、鉋屑を再利用するもので、香りの素晴らしい、時を経ると色が変わっていくのも楽しめるなどの説明がありました。

その後、実際に「ひのきろうず」を作る作業に講師の方に教わりながら作るものの、最初は大きく膨らませバラのようにすることができません。し

かし、コツをつかむとバラのように大きなものを作れるようになってきました。何本かできたところで花束になるように包み飾りもつけて完成しました。最後に全員で集合写真を撮りました。

その後、会場を変えて交流会も行われ、職場を超えた交流が行われました。

市町村長への要請内容

10月1日からの最低賃金の改定に向けて、地域別最低賃金については、中央最低賃金審議会での目安決定を受け、新潟地方最低賃金審議会および新潟県最低賃金専門部会で審議されます。各自自治体の最低賃金に関する理解浸透や中小企業・小規模事業者等への周知徹底につなげる観点から、連合新潟では各自自治体および首長に対し、新潟県の経済成長と労働力確保、セーフティネットとしての最低賃金の引き上げを新潟労働局および新潟地方最低賃金審議会へ要請するよう、取り組みを進めています。

中越地協でも、7月4日に長岡市と出雲崎町に要請を行いました。また、各支部でも取り組みを進めてきました。

1 令和6年度新潟県最低賃金の改定にあたっては、物価上昇分を考慮したうえで、最低生活の可能な賃金水準への上積みをはかること。

2 最低賃金の引き上げにあたっては、都市部や近隣県との格差是正を十分考慮した水準とする。

3 最低賃金改正決定後は、改正金額の周知徹底するとともに、最低賃金法違反摘発や再発防止などの監督体制を強化すること。また、「最低賃金引上げにむけた中小企業・小規模事業者への支援事業(厚生労働省)」など、国が展開する支援制度の活用について広く周知すること。

SJネット委員会学習交流会「ひのきろうず」をつくる

最低賃金引き上げの取り組み 市町村長に要請行動を実施

8月9日(金) 共に平和を祈ろう

リニューアルした 連合中越ホームページ

連合中越では、6月にホームページのリニューアルを行いました。特にスマートフォンからの閲覧が見やすくなりました。ぜひ、ご覧ください。

<https://tyuuetu.net/>



共に平和を祈ろう

one minute silence

2024.8.9(金) 始業時または昼食時
原爆死没者への追悼と世界恒久平和を祈り、1分間の黙祷をささげましょう。